

6 パーツ交換の方法

△安全上の注意事項

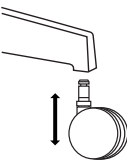
△警告 交換するパーツ以外は触れないでください。ガスシリンダーやスプリングなど高圧パーツを分解するとけがをすることがあります。てください。座面が急上昇して、けがをすることがあります。

注意の種類の規定:一般社団法人日本オフィス家具協会 (JOIFA) による次のような危険性の規定に基づいています。

△警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。 **△注意** 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

キャスターの交換

- ① イス本体を安定した所へ横向きに置いてください。
- ② 脚羽根とキャスターの隙間にマイナスドライバーを差し込み、こじるように動かしてキャスターを外してください。
- ③ 新しいキャスターをしっかりと奥まで差し込んでください。使用時に外れると、けがをすることがあります。



△キャスターについての注意事項

- ① キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をおすすめします。

△ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項

- ① Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒してけがをすることがありますので、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをお選びください。
- ② 軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。

△抵抗付ウレタン双輪キャスター・ゴム単輪キャスターを選ばれたときの注意事項

- ① 軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤が抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部やゴム単輪キャスターのゴムを侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。
- ② 抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部は、使用環境により大きくばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので、破損した場合は早めのキャスター交換をおすすめします。

7 故障かな?と思ったら

現 象	確 認 事 項 お よ び 対 処 法
キャスターが転がりすぎる。	●Pタイル等の硬質の床面では、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●レバー操作をする時、座面の中央部に体重をかけていますか。 ●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●レバー操作をする時、座面から腰を浮かせていますか。 ●座面が最高位置になっていませんか。
上下レバーを操作しなくても座が下がる。	●上下レバーを操作しない状態で座面が1～2cm下がる現象は、タックリングといい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機構です。
異常な音をする。	●ロッキング等から異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買い求めの販売店にご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	◎「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションとのパーツ交換をおすすめします。
背が戻らない。	●ロッキングストッパーを解除していますか。 ●ロッキング強弱調節ノブを「強」の方向に回してみてください。 ●座の奥側ではなく、手前(前縁)に座り、背を戻してみてください。
ランバーの上下調整ができない。	●背もたれから背中を離していますか。

△ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店、またはイトーキ お客様相談センターまでご連絡をお願いいたします。
フリップフラップチェア A576 18.07

フリップフラップチェア 7

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。

We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.



対応機種

KF-8**

KF-○ (H) はハンガー付きを表す。

●製品記号は、座面の裏側にラベルで表示してあります。

FLIP FLAP

フリップフラップチェア

取扱説明書

保証の明細付

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この度はイトーキ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この説明書は製品の使い方と、ご使用上の注意を記載しています。お読みになったあとも、いつもそばに置いて、わからない時に再読ください。また、製品をほかの方に渡す時には、必ずこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

I N D E X

1. 安全上の注意事項…………… P. 2
2. 使用上の注意事項…………… P. 2
3. フリップフラップチェアの機能・調節…………… P. 3～6
4. 点検・お手入れ…………… P. 6
5. 品質表示…………… P. 6
6. パーツ交換の方法…………… P. 7
7. 故障かな?と思ったら…………… P. 7

保証の明細

お使いの弊社製品が、取扱説明書、本体貼付のラベル等の注意書による正常なご使用状態のもとで故障した場合、下記保証期間をご参照のうえ、お買い求めの販売店へご連絡ください。転居されたり、譲渡された物の修理等でお困りの場合にはイーキお客様相談センターへご相談ください。

■保証項目

保証書でご入用の場合は、お買い求めの販売店に、別途保証書の発行をお申し付けください。お買い上げ日は保証書に記載します。

●保証期間は、「一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）」のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外觀表面仕上げ	塗装・張地の変色、褪色、摩耗
2年保証	機 能	イスの上下・回転・ロッキング機構・キャスター
3年保証	構 造 部 材	座部・背もたれ部・肘かけ部・脚部の構造部材

上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用方をとする所の保証期間ではありません。

※保証項目は、各機種共通とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます（修理によって機能の維持が出来る場合のみ）。

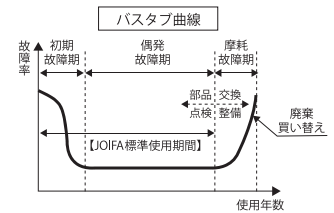
●保証書がない場合または当社以外から納品の既使用品の場合は、製造年月日より換算（1年2年3年と）しております。

■JOIFA標準使用期間について

JOIFA標準使用期間：注意喚起が目的で、耐用年数や保証期間ではありません。

一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）では、改正消費生活用製品安全法的主旨に合わせ、一定の使用条件（注）で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定致しました。この期間は製品の無償保証期間とは異なります。通常製品は右のバスタブ曲線

が示すように、この期間の末期から、経年劣化などによる故障が増大することが考えられます。その場合に、点検・整備や部品交換で継続使用いただくか、ご使用に耐えない場合には買い換えをお勧めさせていただく場合もあります。



JOIFA標準使用期間の終期は、製品に貼付されているラベルをご確認ください。製造年にJOIFA標準使用期間を加えた年の年末となります。

（注）品目別の使用条件は、JOIFAのホームページ（<http://www.joifa.or.jp/>）をご覧ください。

※保証期間及びJOIFA標準使用期間の内容につきましては、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証対象外の場合

- 火災・天災による故障の場合。
- 改造またはご使用者の責任に帰すると認められる故障の場合。

■部品の保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。（エコマーク対象品は10年間です）補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

※仕様については予告なしに変更する場合があります。

■製品と修理に関するお問い合わせ

イーキお客様相談センター ☎0120-164177 <http://www.itoki.jp/>

■取扱説明書を紛失した場合

上記イーキお客様相談センター、またはお買い求め先の販売店にお申し付けください。

■製品の廃棄について

不要になった製品の廃棄は、各種廃棄物処理業許可取得業者に依頼するなど法令にしたがった適切な廃棄処理をお願いいたします。

株式会社イーキ

お客様相談センター ☎0120-164177 <http://www.itoki.jp/>

1 ⚠️安全上の注意事項

安全に正しくお使いいただくため、必ずお守りください。

⊘ このマークは禁止行為を表わします。❗ このマークは行為の指示を表わします。

⚠️警告 滑りやすい床面で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。

●座るときは、イスの位置を確かめてお座りください。
●カーペットのないPタイルなどの硬質な床の上では、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをご使用ください。

⚠️注意 運搬に使用するなど、用途以外で使わないでください。転倒してけがをすることがあります。

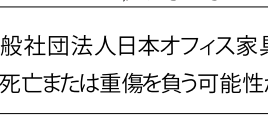


⚠️注意 座面の前縁部に腰掛けないでください。転倒してけがをすることがあります。



⚠️注意 座面がぐらついたり、異音を生じたままでは使わないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。

●異常が生じた場合には、すぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。



⚠️注意 イスの上に立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。



⚠️注意 回転部や可動部のすきまに指を入れないでください。はさまれてけがをすることがあります。



⚠️注意 肘かけに腰掛けたり、のったりしないでください。転倒してけがをすることがあります。



⚠️注意 居室の換気をせずに使わないでください。必要換気量の求め方
必要換気量 = $\frac{20 \times \text{居室の床面積}(\text{m}^2)}{1 \text{人当りの占有面積}(\text{m}^2)}$ (m³/h)

（注1）上式の「20」は20(m³/h・人)の意味ですが、この根拠は成人男性が静かに座っているときのCO₂排出量に基づいた必要換気量です。

⚠️注意 「パーツ交換の方法」で説明されているパーツ以外を分解しないでください。けがや故障の原因となります。



（注2）居室では1人当りの占有面積が10(m²)を超える場合は、10(m²)とします。

注意の種類の規定：一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）による次のような危険性の規定に基づいています。

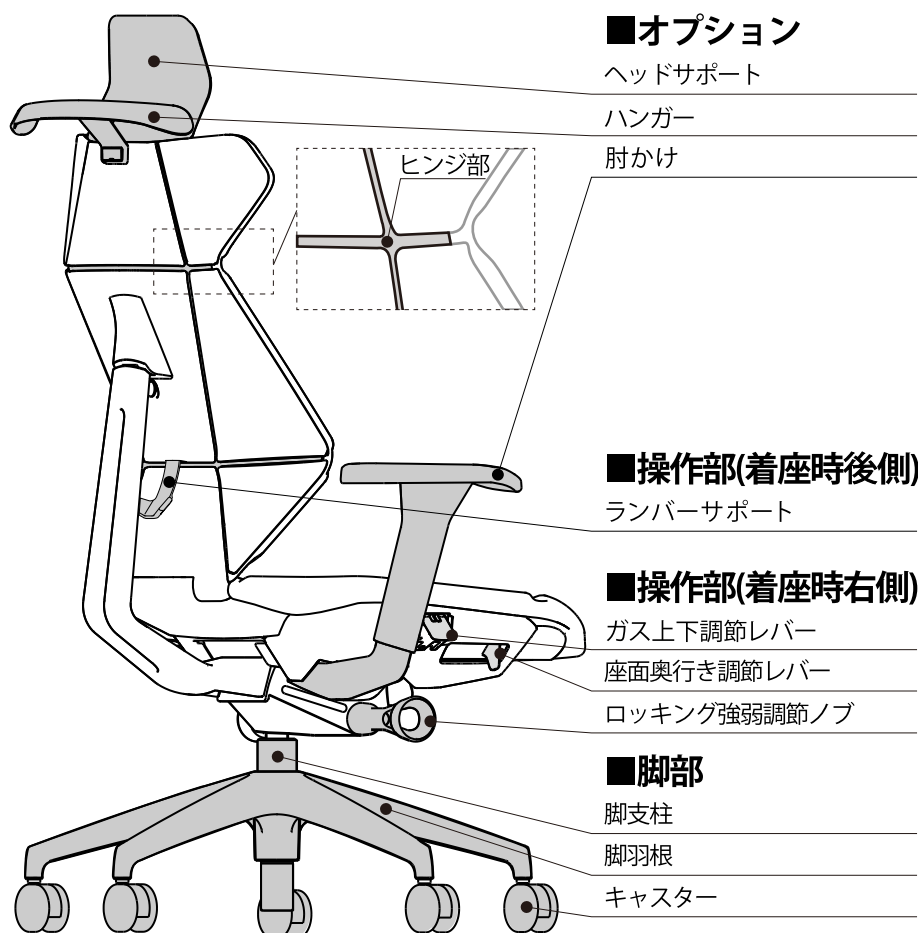
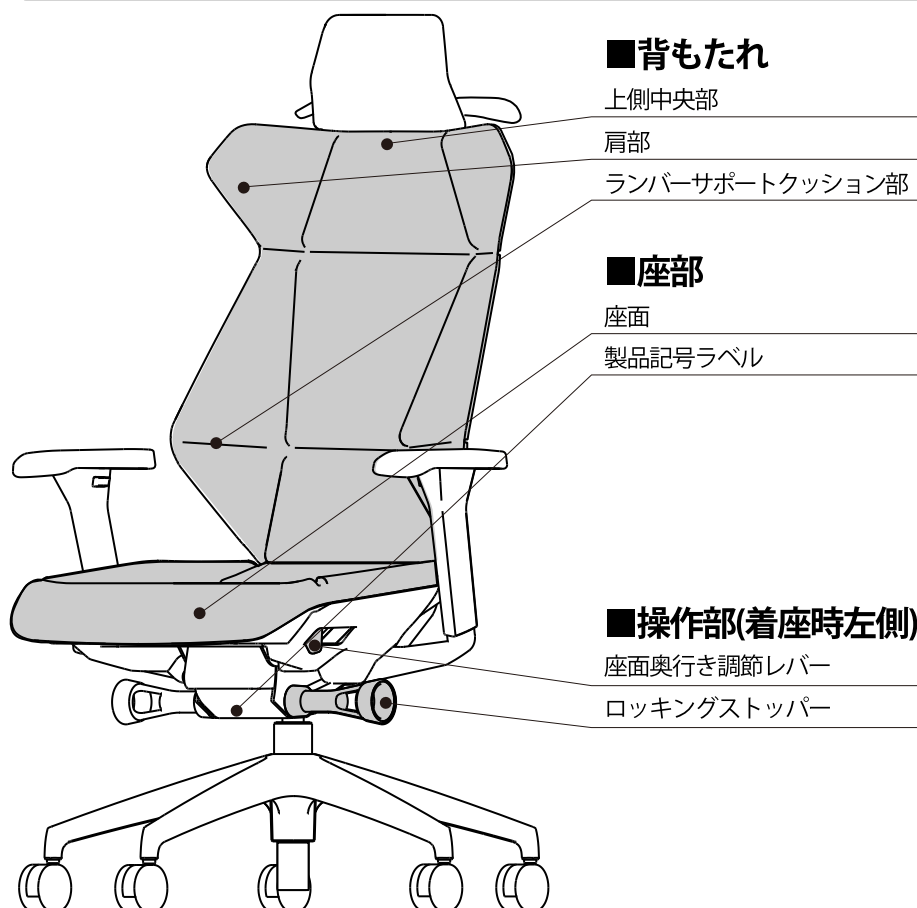
⚠️警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。⚠️注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

2 ⚠️使用上の注意事項

- ❗ 背部と座部を机やワゴン等の什器に当てない（打ち付けない）でください。張地が傷み、擦り切れるおそれがあります。
- ❗ イスを机やワゴン等の木製の什器に当てない（打ち付けない）でください。木製の什器が傷つくおそれがあります。
- ❗ 可動部に注油をしないでください。油がたれて、床や衣類を汚す原因になります。
- ❗ 紫外線の影響により色変わりや色あせのおそれがあります。特に直射日光の当たる場所でのご使用は避けてください。
- ❗ ボルトやネジがゆるんだままでは使わないでください。故障の原因になることがあります。
 - ❗ ガタツキが生じている部分のボルトやネジを締め直してご使用ください。
- ❗ 製品の購入当初は化学物質の発散の多い事があります。暫くの間は、換気や通風を十分に心掛けてください。
また、室内が高温（温度28℃、相対湿度50%超えが目安）になる場合には窓を締め切らないか、強制換気をしてください。
- ❗ 肘を机の天板に当てないでください。肘の回転が故障するおそれがあります。

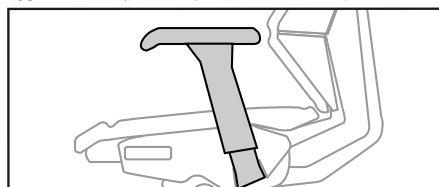
3 フリップフラップチェアの機能・調節

各部の名称



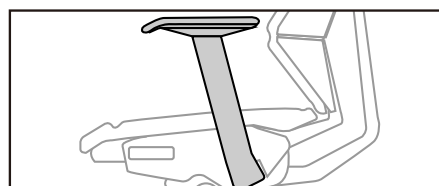
■肘かけ

肘かけの形は2種類あります。



アジャスタブル肘：KF-827、KF-837
KF-857、KF-867

※アジャスタブル肘の操作方法についてはP5をご参照ください。



T型肘：KF-825、KF-835
KF-855、KF-865

※T型肘は、肘当ての高さ調節、前後調節、左右調節、回転調節ができません。

⚠ ヘッドサポートについての注意事項

- ① ヘッドサポートにもたれかかるなど、過大な力を掛けないでください。破損やけがの原因になります。

⚠ ハンガーについての注意事項

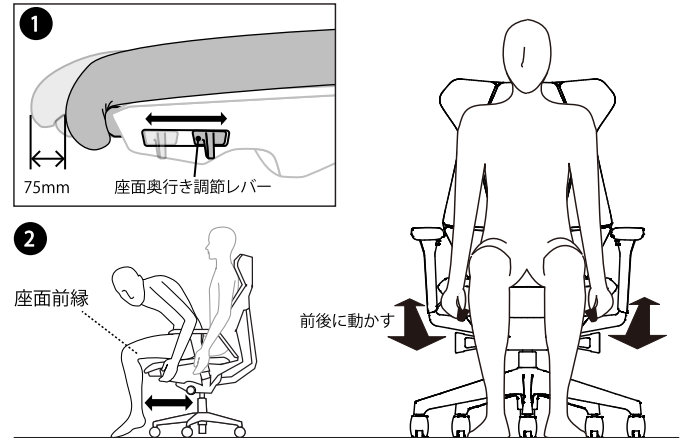
- ① 2kg以上のものは掛けないでください。破損の原因になります。
- ① ハンガーにもたれかかったり、強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
- ① コートのような背丈の長い服は掛けないでください。床への接触やキャスターへの巻き込みで汚れや破れの原因になります。

⚠ イスの移動についての注意事項

- ① 移動の際は、背もたれ上側中央部を持つようにしてください。ヘッドサポート装着時にはヘッドサポートを持つようにしてください。
- ① 移動の際は、過大な力を加えないでください。部品が破損する原因になります。
- ① 背もたれの肩部、ランバーサポートクッション部を持ってイスの移動をしないでください。ハンガー装着時はハンガーを持ってイスの移動をしないでください。ヒンジ部破損の原因になります。
- ① 座面や肘かけをつかんでイスを持ち上げないでください。座面や肘かけが外れる原因になります。

座面奥行き調節

- 1 座面の奥行きは前後約75mmの範囲で調節できます。座面奥行き調節レバー操作により、体格に合わせたポジショニング設定が座った状態で可能です。
- 2 座面前縁の両端にある座面奥行き調節レバーを前後させることで、座面前縁が折れ曲がり、奥行きを調節することができます。
(レバーを前側に押すと奥行きが長くなります。また、手前に引くことで奥行きが短くなります)
- ❗ 購入時や奥行き調整時に座面の張地の巻き込みによるシワ等が発生する可能性があります。機能上は問題なくご使用できます。座面奥行き調節レバーを前にすることで自然に復元します。
- ❗ 座面奥行きを調節するときは、座面前縁に体重が掛からないようにしてください。奥行き調節が重くなります。
- ❗ 座面奥行きの調節をするときは必ず、両端のレバーを持って調節してください。片側のレバーだけでの調節は破損、操作不良の原因となります。



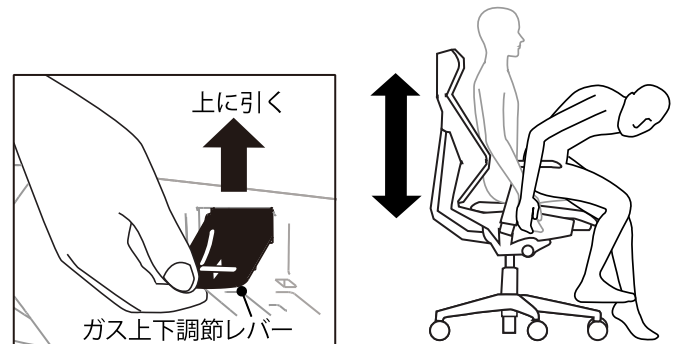
座面の高さ調節

座面を高くするとき

必ず座面に腰掛け、座面右側下のガス上下調節レバーを上へ引き上げます。座ったまま少しずつ腰を浮かすと座面が上がります。希望の高さになったらレバーをはなします。

座面を低くするとき

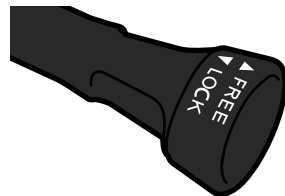
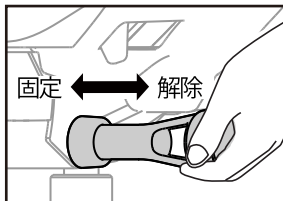
必ず座面中央部に腰掛け、座面右側下のガス上下調節レバーを上へ引くと座面が下がります。希望の高さになったらレバーをはなします。



ロッキング角度の固定

座面左側下にあるロッキングストッパーでロッキング角度を初期状態から最後傾まで5段階で固定できます。

■着座時左手側のレバー



ロッキング角度の固定

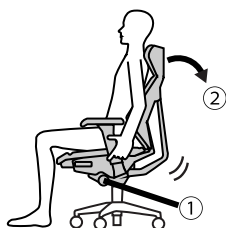
固定したい角度まで背もたれを傾け、座面左側下のロッキングストッパーを内側方向に押し、手をはなしてください。背もたれが固定されます。



ロッキング角度の固定の解除

① 座面左側下のロッキングストッパーを外側方向に引っ張り、手をはなしてください。

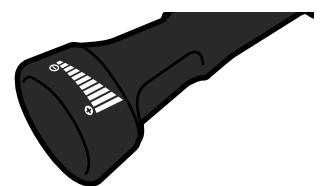
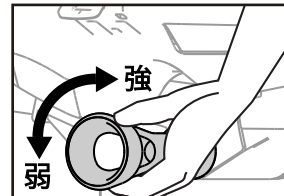
② 背もたれに体重をかけロッキングさせるとロックが解除されます。



ロッキングの強弱調節

背もたれの後傾のロッキング強弱は座面右側下にあるロッキング強弱調節ノブで調整します。

■着座時右手側のレバー



強くする／



【右回り】
前方向に回す

弱くする／



【左回り】
後方向に回す

❗ 強さを調節するときは必ず、背が直立の状態で行なってください。(背にもたれないでください) 背にもたれた状態では、ロッキング強弱調節ノブの回転が重くなります。

❗ 強さを調節するときは、ロッキング強弱調節ノブの穴に指を入れないでください。けがをすることがあります。

ロッキングの強弱の目安

背もたれに軽くよりかかると、背中をささえながら傾き、戻るときには背もたれが自然についてくる程度が適度な固さの目安です。

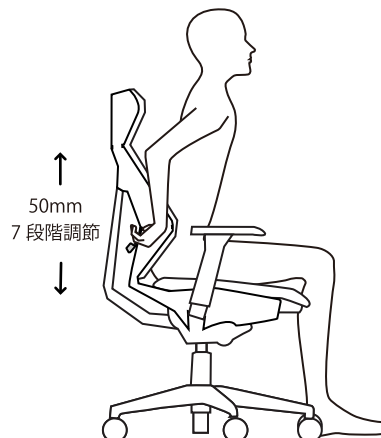
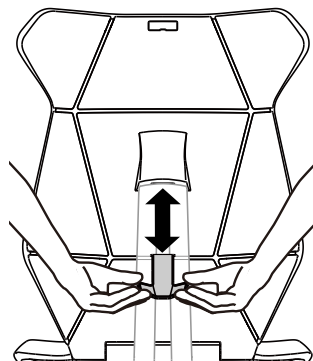
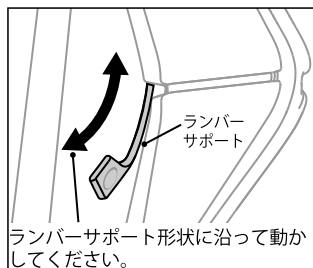
❗ 最後傾で背もたれが自然についてこないときは、腰を浮かし、背もたれを直立に戻した状態でロッキング強弱を強くしてください。

ランバーサポートの調節

適応機種：KF-85、KF-86

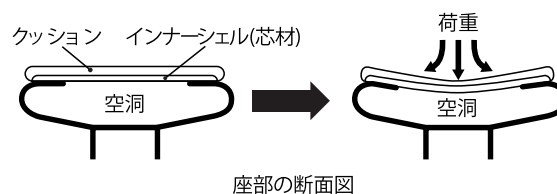
ランバーサポートの位置は、体格に合わせて高さ50mm・7段階の調節ができます。背もたれより身体を離した状態で、ランバーサポートを両手で持ち、下図のようにランバーサポート形状に沿って好みの高さまで動かしてください。

- ❗ 無理な姿勢で操作を行うと、身体を痛める恐れがありますので、負担を感じる場合は離席して操作を行ってください。
- ❗ 背にもたれた状態での操作や片手での操作は破損、操作不良の原因となります。



ベンディングシート

座面内側は空洞で、細かいスリットを入れたインナーシェル(芯材)を左右から吊った構造になっています。荷重に合わせて座面が自然にたわみ、体重を適度に分散して支えます。血行を妨げず、安定した座り心地です。また、スリットから体温を発散し、ムレを防ぎます。



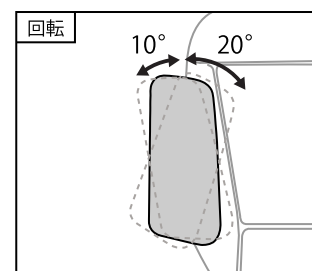
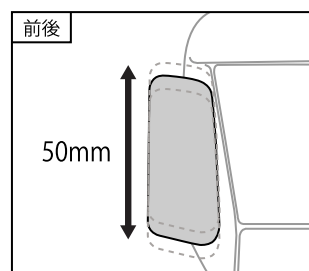
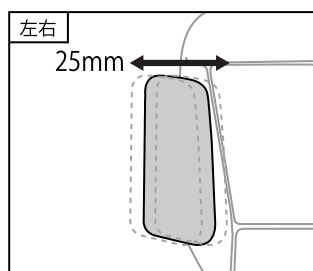
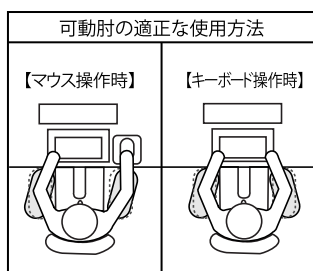
アジャスタブル肘の調節

適応機種：KF-827、KF-837、KF-857、KF-867

肘かけ部の回転、スライド

肘かけ部は、外側10° 内側20° ずつ計30° の回転と50mmの前後スライド、25mmの左右スライドが可能です。長時間のキーボードやマウス操作は首や肩、腕に大きな負担をかけます。腕の位置やデスクの高さに合わせて、肘かけの位置を調節することで、腕にかかる負担が軽減できます。

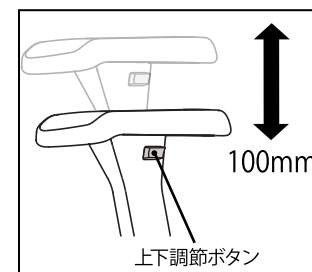
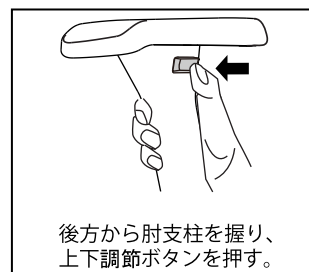
⚠ 肘かけ部を持ってイスの持ち運びはしないでください。破損の原因となります。



高さの調節

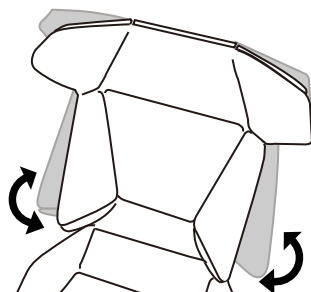
100mmの上下スライドが可能です。肘かけ側部の上下調節ボタンを押しながら、肘かけを希望の高さに合わせて手をはなします。

❗ 上下調節ボタンが戻ることを確認してください。



ペルヴィス&サイドサポート機構

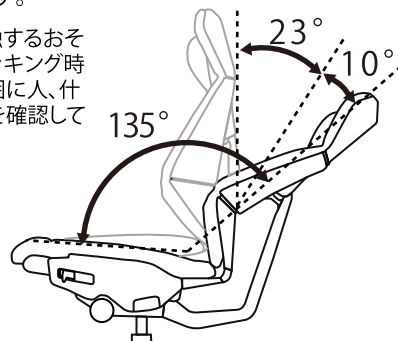
背の傾きにに合わせて、サイドのランバーサポートクッション部が動き、背の後方と両サイドからペルヴィス（骨盤）を自動的に支え、体の負荷を軽減します。



大きな後傾角度

ロッキング角度23°とペルヴィス・サポート・システム10°により、体を大きく広げることができ、寝る姿勢に近くなりリフレッシュが可能です。

！人、什器、壁などに接触するおそれがありますので、ロッキング時や回転時には必ず周囲に人、什器、壁などがいないことを確認してください。



4 点検・お手入れ

快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。

点 検

ネジのゆるみ

使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めをしていただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。

⚠ ボルトやネジがゆるんだまま使用すると、本体がこわれてけがをすることがあります。

異音の発生

ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買い求め先の弊社担当者にご連絡ください。

お 手 入 れ

背もたれ・座面の裏部、脚部のお手入れ

きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどい時には、うすめた中性洗剤溶液でおふきください。

⚠ シンナー、アルコール類の使用は避けてください。変色する場合があります。

⚠ アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。



布地・人工皮革・クッション部のお手入れ

手ではたくか、電気掃除機でほこりを吸いとってください。クッション部の汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。人工皮革の場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

5 品質表示

記号の説明：

■には次の記号が入ります。2…ランバーなし 5…ランバー付き
▼には次の記号が入ります。3…ランバーなし 6…ランバー付き

△には次の記号が入ります。0…肘なし 5…T型肘 7…アジャスタブル肘 (H)はハンガー付き
□□には次の記号が入ります。DE…革シボ加工 DG…ディンプル加工

項目	機種	KF-8■△GC-ZW KF-8■△GC-ZT	KF-8■△GC-TW KF-8■△GC-TT	KF-8■□□-ZW KF-8■□□-ZT	KF-8■□□-TW KF-8■□□-TT	KF-8▼△GC-ZW KF-8▼△GC-ZT	KF-8▼△GC-TW KF-8▼△GC-TT	KF-8▼□□-ZW KF-8▼□□-ZT	KF-8▼□□-TW KF-8▼□□-TT	
		エクストラハイバック				ハイバック				
		クロスタイプ		ビニールレザータイプ		クロスタイプ		ビニールレザータイプ		
		アルミ脚タイプ	樹脂脚タイプ	アルミ脚タイプ	樹脂脚タイプ	アルミ脚タイプ	樹脂脚タイプ	アルミ脚タイプ	樹脂脚タイプ	
		幅 ※脚部除く	アジャスタブル肘 650～700 / T型肘 660 / 肘なし 510							
寸法 (単位: mm)	奥行 ※脚部除く	555～630 (H610～685)								
	高さ	1190～1305				1035～1150 (H1070～1185)				
	座面前縁の高さ	435～550								
重量 (単位: kg)	肘無	ランバーなし	—	—	—	—	19.6 (H19.8)	21.1	19.9	
		ランバー付き	—	—	—	—	19.8 (H20.0)	21.3	20.1	
	T型肘	ランバーなし	24.5 (H24.7)	23.3 (H23.5)	24.9	23.7	24.1 (H24.3)	22.9 (H23.1)	24.4	23.2
		ランバー付き	24.7 (H24.9)	23.5 (H23.7)	25.1	23.9	24.3 (H24.5)	23.1 (H23.3)	24.6	23.4
	アジャス	ランバーなし	24.6 (H24.8)	23.4 (H23.6)	25.0	23.8	24.2 (H24.4)	23.0 (H23.2)	24.5	23.3
	タブル肘	ランバー付き	24.8 (H25.0)	23.6 (H23.8)	25.2	24.0	24.4 (H24.6)	23.2 (H23.4)	24.7	23.5
構造 部材	背アウターシェル	ポリアミド+ガラス、熱可塑性エラストマー								
	背ブラケットフレーム	金属<アルミ>								
	座アウターシェル	ポリプロピレン+ガラス								
	背、座インナーシェル	ポリプロピレン								
	座受け部	金属<鋼>、金属<アルミ>、金属<亜鉛>								
	肘かけ部	肘付き ポリプロピレン、ポリアミド+ガラス、金属<アルミ>、PUR (表皮材) / 肘なし —								
	ヘッドサポート部	ポリアミド+ガラス、金属<鋼>					—			
	脚羽根部	金属<アルミ>	ポリアミド+ガラス	金属<アルミ>	ポリアミド+ガラス	金属<アルミ>	ポリアミド+ガラス	金属<アルミ>	ポリアミド+ガラス	
	脚支柱部	金属<鋼>								
	ハンガー部	ポリアミド+ガラス								
表面加工	ランバー付き ポリプロピレン、ポリアミド+ガラス、ポリアセタール / ランバーなし —									
張り材	粉体塗装 又は ミラー仕上げ									
クッション材	GC:再生ポリエステル50%+ポリエステル50%		DE,DG:ポリ塩化ビニル100%		GC:再生ポリエステル50%+ポリエステル50%		DE,DG:ポリ塩化ビニル100%			
	ウレタンフォーム									

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示